

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路橋りょう費事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する道路及び橋りょう	意図	道路及び橋りょう等の機能を維持し、社会インフラも管理する。
事業内容	・道路及び橋りょう等の維持・管理・運営に必要な事務用機器及び消耗品、PCソフト、使用料等を適正に管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・道路法に基づく適正管理。 ・旧来の道路用地（赤道）が国から譲与されたことに伴い、法定外公共物として道路法に準じた管理をしている。区画整理事業の進捗に比例して、ライフライン関連の占有物件の許認可事務が増加している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	・上半期と下半期に分け、道路上での工事について、ライフライン事業者と調整会議を実施している。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・事業者間の工事日程を調整することにより、道路上での工事期間の短縮や繰り返し工事を削減するよう努めている。	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	6,171,968	5,472,648	5,275,787				
事業費(b)(円)	6,034,668	5,338,408	5,143,947				
うち一般財源	6,034,668	5,338,408	5,143,947				
職員給与費(c)(円)	137,300	134,240	131,840				
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	・占有物件管理システムを精査し、業務改善となりうるシステムの導入（占有管理システムのハード移行）していく。	取組における課題(Check)	・システム移行に伴う運用調整が必要となっている。
H30に実施した取組(Do)	・GISの統合に合わせて占有管理システムのハード移行を行った。	課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	GISを管轄する部署との早期のシステム調整を図り、業務改善を行う。